

## 流域モニタリング一斉調査結果

## 1 背景

- ・ 県民一人ひとりが、人間活動と水循環など環境とのかかわりを正しく理解し、自ら環境に配慮した行動をするためには環境学習の果たす役割がきわめて重要です。
- ・ この環境学習は、子どもたちが水や自然と触れたり、遊んだりする機会をより多く創出することにより、その中で水や自然の大切さや人と自然との共生について学んでもらうためのものです。
- ・ 身近な水辺に興味を持ってもらうため、水質・水量・生態系・水辺といった水循環に関する項目からなる「水循環再生指標」（平成19年7月作成）を活用して、「流域モニタリング一斉調査」を平成21年度より実施しています。
- ・ この調査は水循環再生に向けた取組の評価や見直しに活用するだけでなく、流域全体の状況把握や流域内の連携向上を期待しています。

## 2 参加者公募状況

- ・ 幅広い県民を対象に流域モニタリング一斉調査の参加を促すため、事務局（県環境部水地盤環境課）では参加者募集の記者発表を行いました。また、市町村においては、広報等を活用して公募を行いました。
- ・ 昨年度より多い49市町村（全市町村の8割以上）で参加者の募集を行いました。

## 公募方法

地域名	市町村数	広報	ホームページ	ちらし	広報+ちらし+ホームページ 広報+ちらし	その他	合計
尾張地域	27	12	1	6	2	3	24
西三河地域	22	14	1	2	-	1	18
東三河地域	8	4	-	1	-	2	7
合計	57	30	2	9	2	6	49
H21参考	61	17	1	8	3	-	29

**身近な水辺環境を調査しよう**

流域モニタリング一斉調査 新参加者募集

新城市は身近な水 水循環再生地域協議会 主体は東三河地域  
 辺環境を調べる。流域 会尾張西三河東三 水質▽水量▽生態系▽水  
 域モニタリング一斉 河地域単位に設置さ 生物や魚▽植生▽水  
 調査の参加者を募 集している。森から海 環境再生に向けて  
 までの流域全体を視 野に入れ、水循環の現 況とその変化を把握 するための、住民や 行政事業者、各種団 体が協力して行う調 査。

調査するものは▽水 質▽水の汚れや色に 関係▽水質▽水量▽ 水質▽生態系▽水生 生物や魚▽植生▽水 辺▽透視度▽ゴミ の状況観察の4項 目。ただし調査地点ま での交通費は自己負 担または子ども向けの 調査は危険なため保 護者ごとの参加が条 件となる。

計画によると調査 期間は6月5日前後 の一週間グループで

(杉葉秀房)

H22.4.10 東愛知新聞

## 流域モニタリング一斉調査の参加者を募集します。

流域モニタリング一斉調査とは、森から海までの流域全体を視野に入れ、水循環の現状とその変化を把握するため、県民・事業者・民間団体・行政が協力して流域の水循環の状況を県内全域で調査するものです。

この調査の参加者（グループ）を募集します。  
 ●資格 問いません。（2名以上での参加を基本とします。ただし、子どもだけの調査は危険なため、保護者と一緒に参加すること。）

●調査期間  
 6月5日（環境の日）の前後一週間（期間内に調査ができない場合は時期をずらして調査することも可能です。）

●調査内容  
 身近な水辺（河川、湖沼、海、水路、ため池など）で「水質」、「水量」、「生態系」、「水辺の親しみやすさ」について調査を行い、報告します。

●募集期間 5月6日(木)～5月28日(金)  
 ●参加申込および問合せ先  
 環境保全課環境係 ☎82-1111（内線216）

広報みはま 平成22年5月号

### 3 流域モニタリング一斉調査体験会（行政職員対象）

- ・参加者の質問等に対応できるようにするため、市町村の担当者を対象に体験会を開催しました。「水の調査の進め方 水循環再生指標調査マニュアル」に従って、透視度やパックテスト（COD）を体験しました。

#### 流域モニタリング一斉調査体験会実施状況

地域名	調査地点		実施日	参加人数
尾張	一級河川 吉田川 あいち海上の森センター付近	瀬戸市吉野町	5月18日（火）	7
	一級河川 堀川 辻栄橋付近	名古屋市北区		
西三河	二級河川 逢妻川 刈谷総合運動公園付近	刈谷市泉田町	5月21日（金）	10
	一級河川 籠川 矢作川合流点付近	豊田市落合町		
東三河	二級河川 音羽川 音羽支所付近	豊川市赤坂町	5月17日（月）	7
	一級河川 朝倉川 飽海橋付近	豊橋市今橋町		



流域モニタリング一斉調査体験会の様子

### 4 参加状況及び調査結果

- ・県内57市町村のうち、約4割の25市町村で参加があり、参加団体数、のべ参加人数は昨年度より増加しました。
- ・調査結果は水質、水量、生態系、水辺及び流域別ごとに別図のとおりとりまとめました。

#### 流域モニタリング一斉調査参加状況

地域名	実施状況			
	市町村数	参加団体数	のべ参加人数	のべ調査地点数
尾張地域	9	15	266	22
西三河地域	14	79	667	176
東三河地域	2	9	67	12
合計	25	103	1,000	210
H21参考	25	83	884	287

## 5 平成23年度の流域モニタリング一斉調査に向けて

- ・流域モニタリング一斉調査は来年度も引き続き実施します。
- ・事務局（県環境部水地盤環境課）で3月末に流域モニタリング一斉調査の参加者募集の記者発表を行いますので、市町村広報への掲載やちらしの配布をお願いします。
- ・来年度も5月下旬に自由参加での体験会を開催します。場所は今年度と同じ場所を予定しています。開催日時については後日連絡します。
- ・調査マニュアルである「水の調査の進め方」及び調査マニュアルを抜粋した「モニタリングハンドブック」については配布できますので、必要部数を御連絡ください。昨年度配布した透視度計については、希望する参加者へ貸し出しをお願いします。

### H23 流域モニタリング一斉調査スケジュール

	22年度			23年度						
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
地域協議会		○								
記者発表			○							
市町村広報等による公募				—						
体験会					○					
保険の加入					○		○			
流域モニタリング一斉調査						=.....				
調査結果とりまとめ										○

# 平成22年度 流域モニタリング一斉調査結果（流域別とりまとめ）

## 調査項目

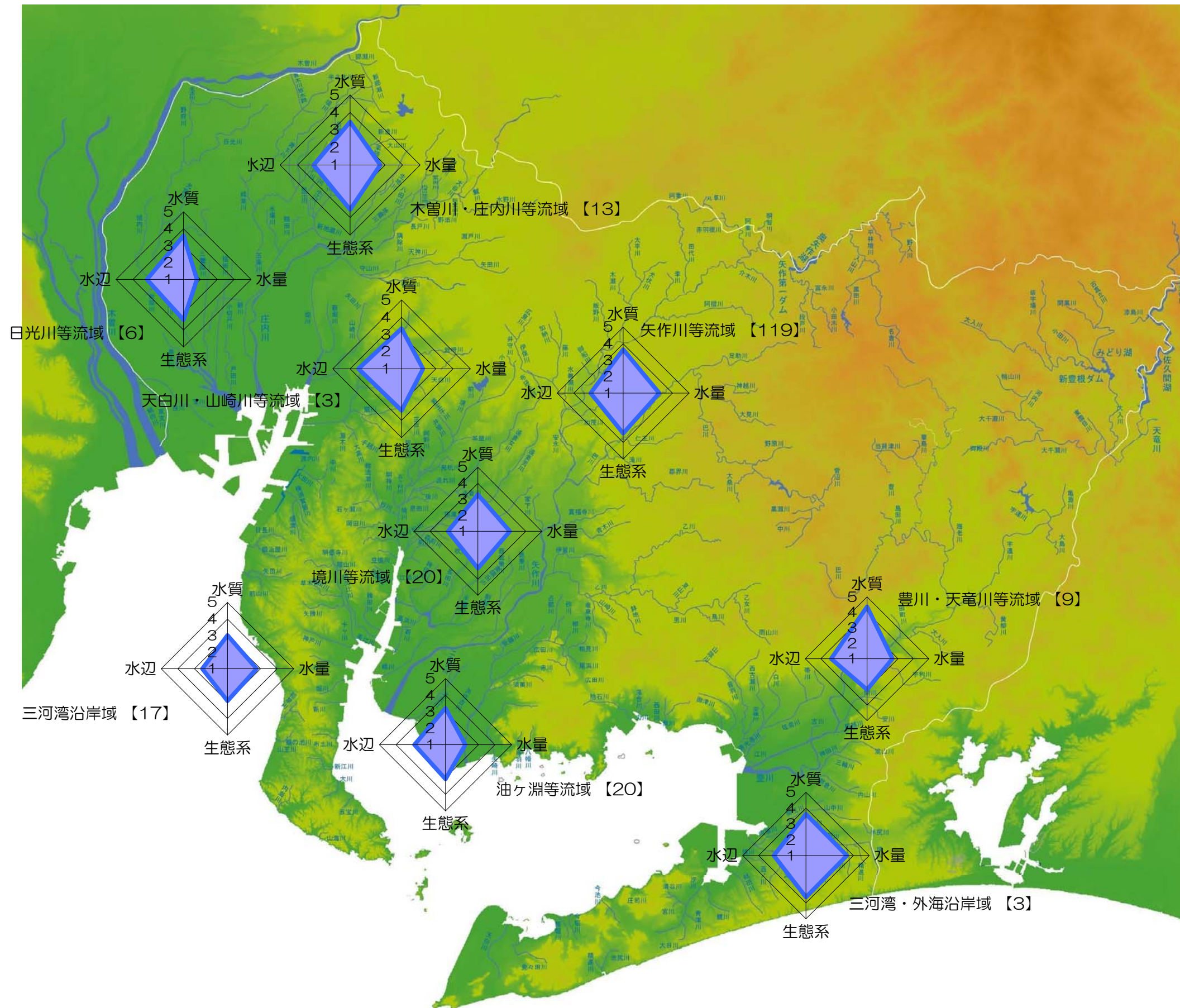
- 水質 水の色、濁り、におい 等
- 水量 水深、流速 等
- 生態系 魚、周辺の植生 等
- 水辺 水辺への近づきやすさ、ごみ 等

各項目を5段階評価しています

例) 水の濁り

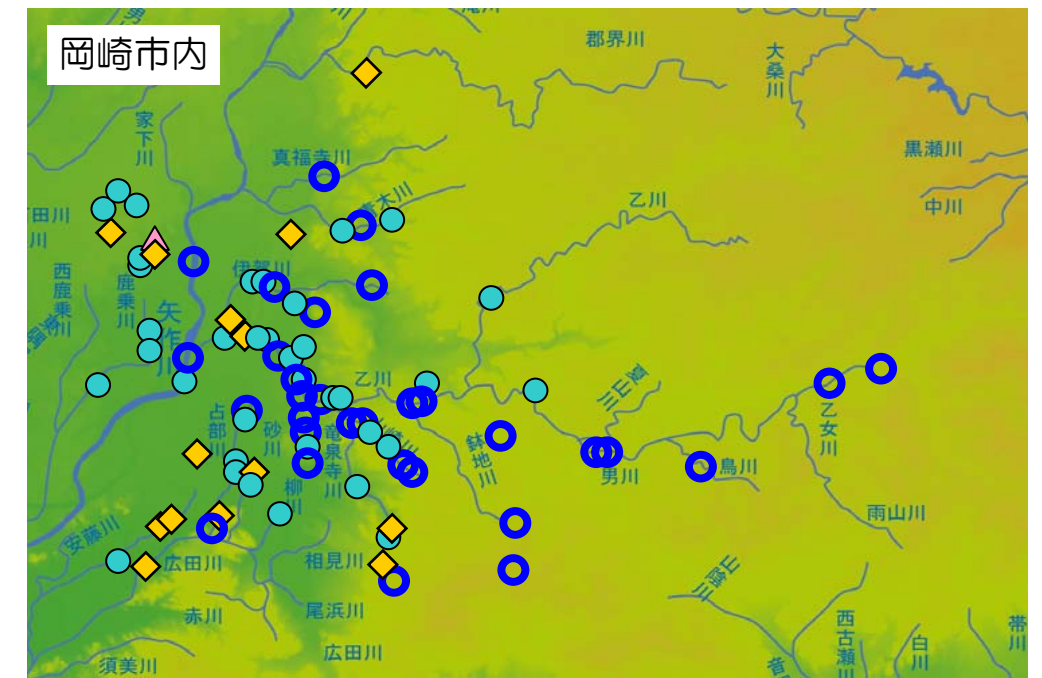
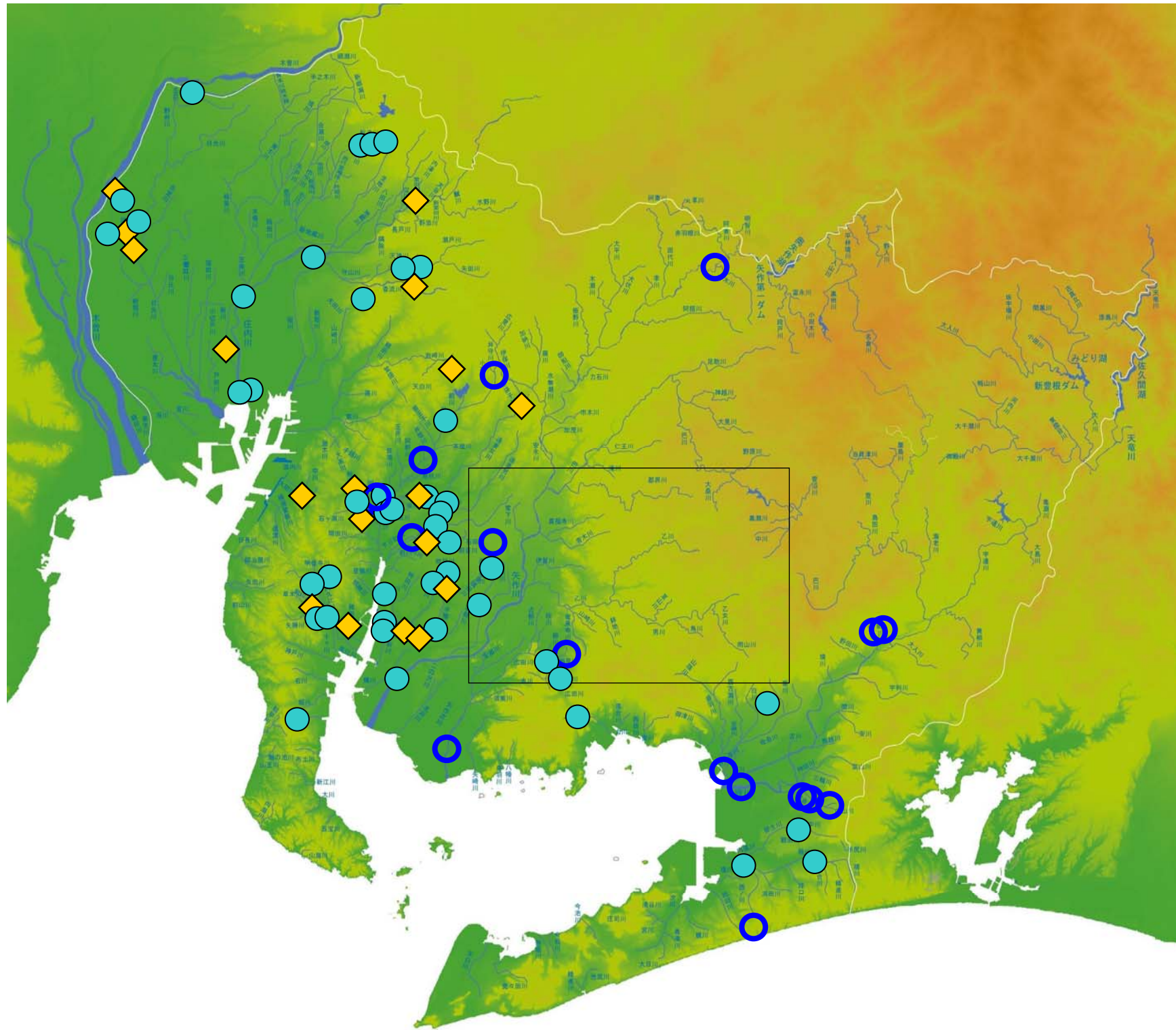
5	4	3	2	1
透明	(中間)	少し濁っている	(中間)	大変濁っている

※ 流域名の後ろの【 】内の数字は地点数を示しています。



# 平成22年度 流域モニタリング一斉調査結果（水質）

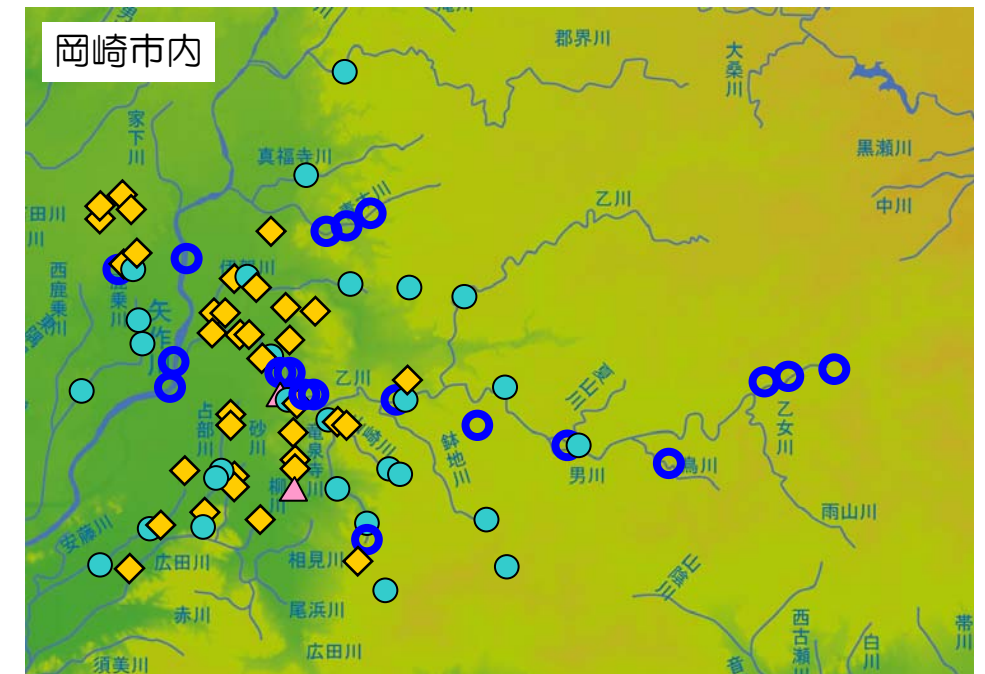
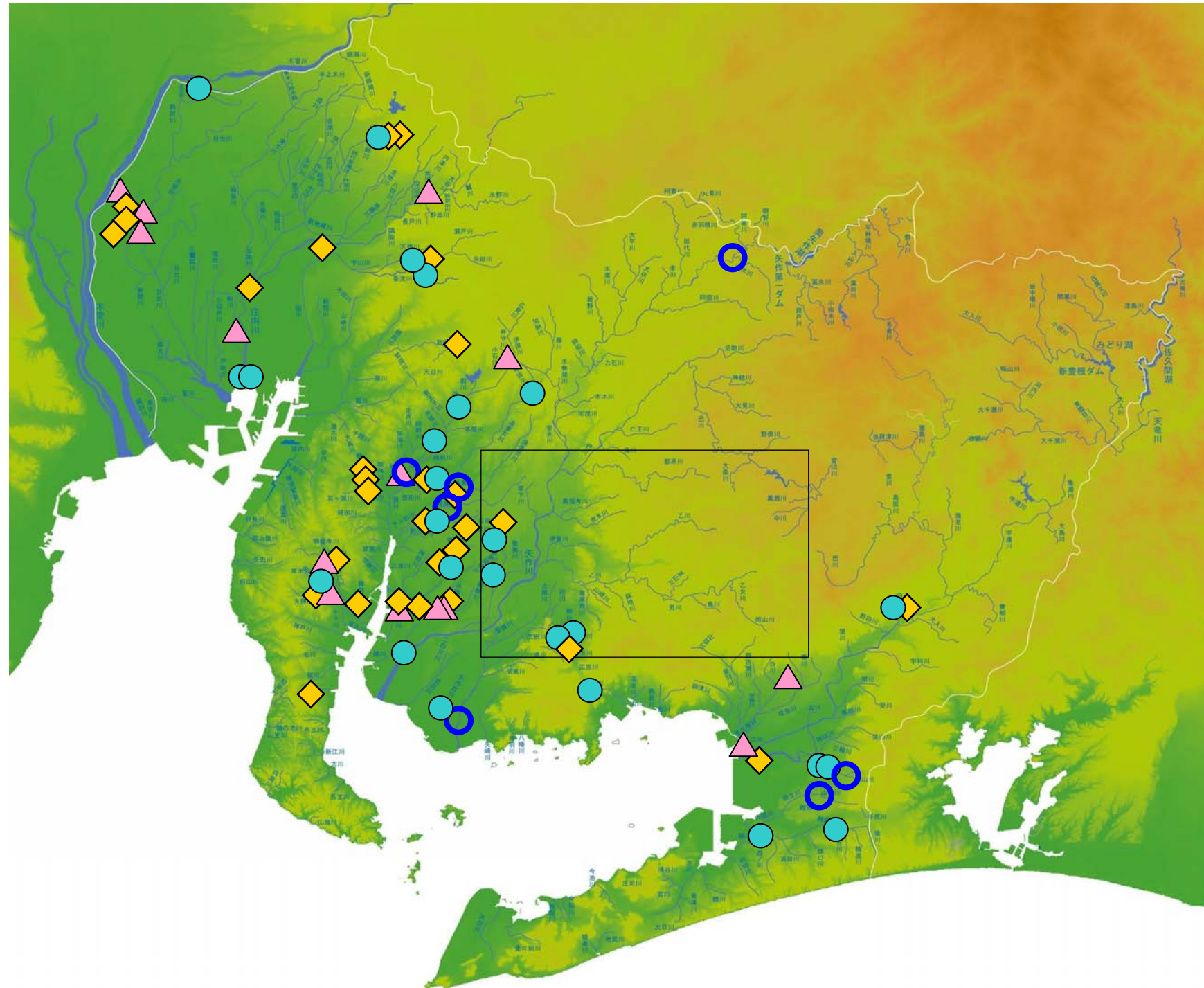
3-5



凡例	平均点	判定
○	4~5	安全できれい ↑ ↓ 利用しにくい
●	3~4	
◇	2~3	
△	1~2	

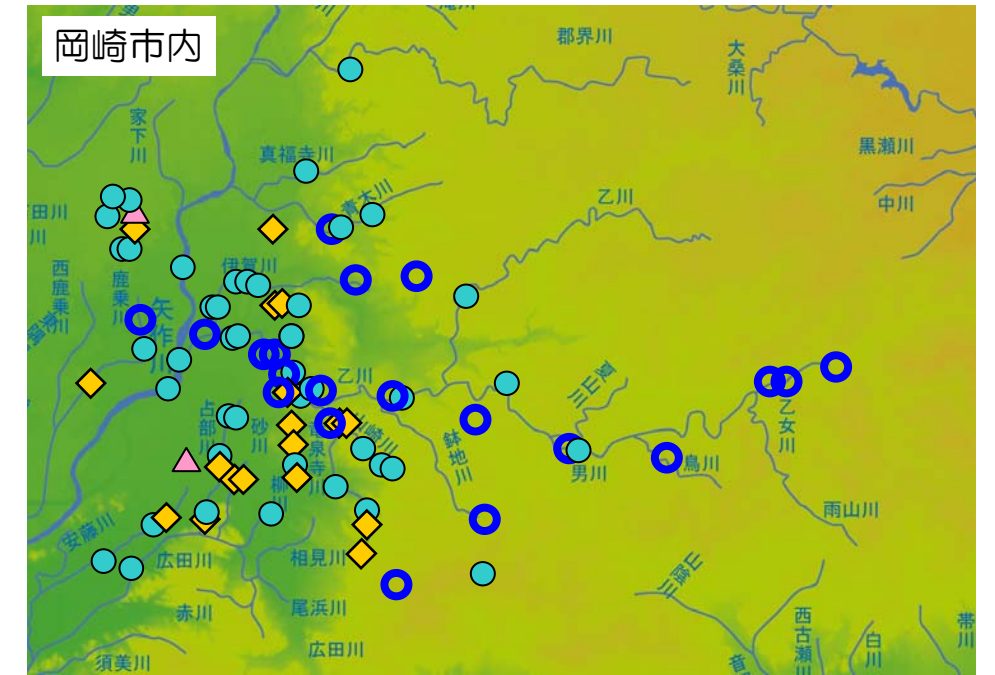
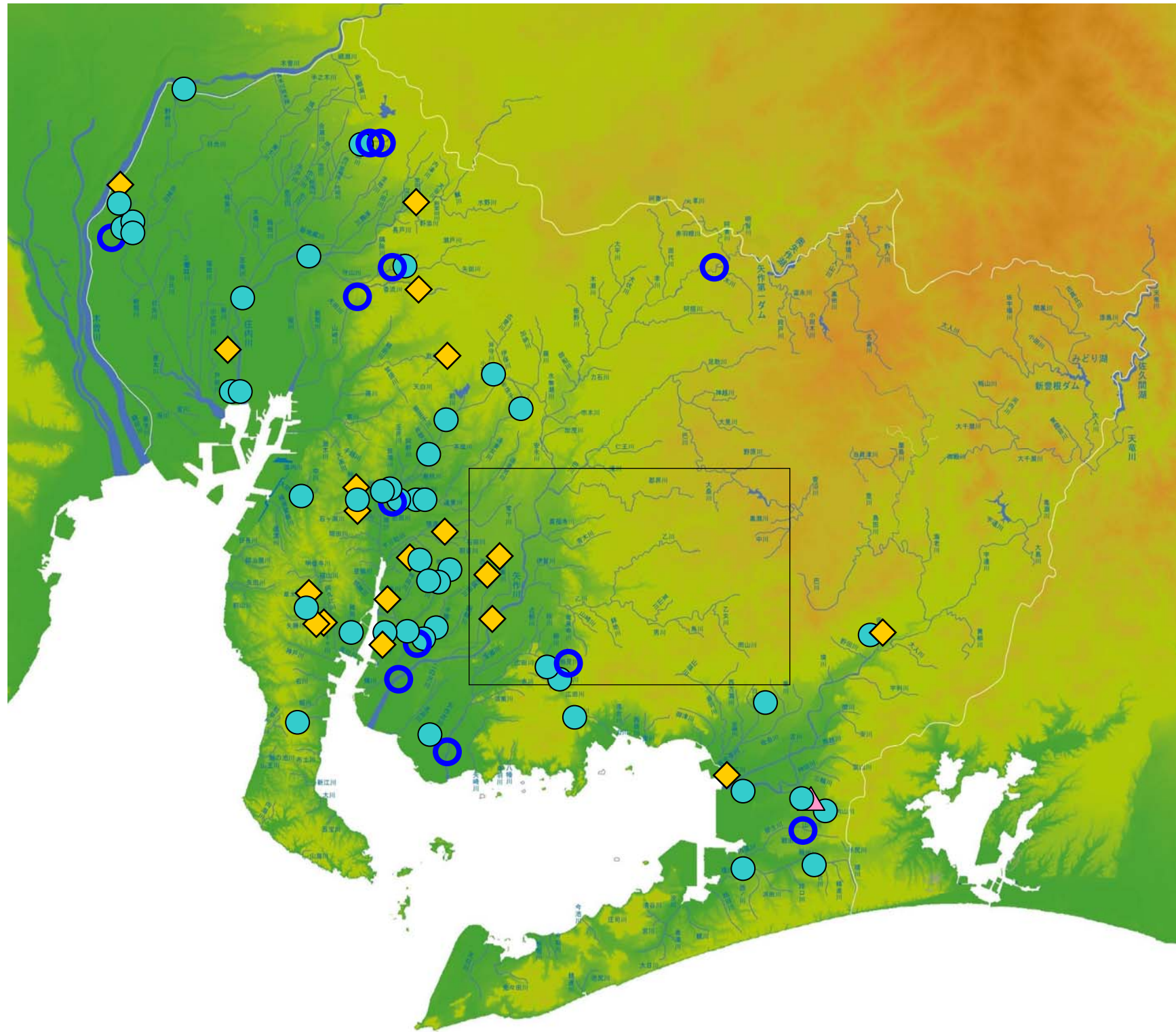
# 平成22年度 流域モニタリング一斉調査結果（水量）

3-6



凡例	平均点	判定
○	4~5	十分な流れがある ↑ ↓ 流れがほとんどない
●	3~4	
◇	2~3	
△	1~2	

# 平成22年度 流域モニタリング一斉調査結果（生態系）

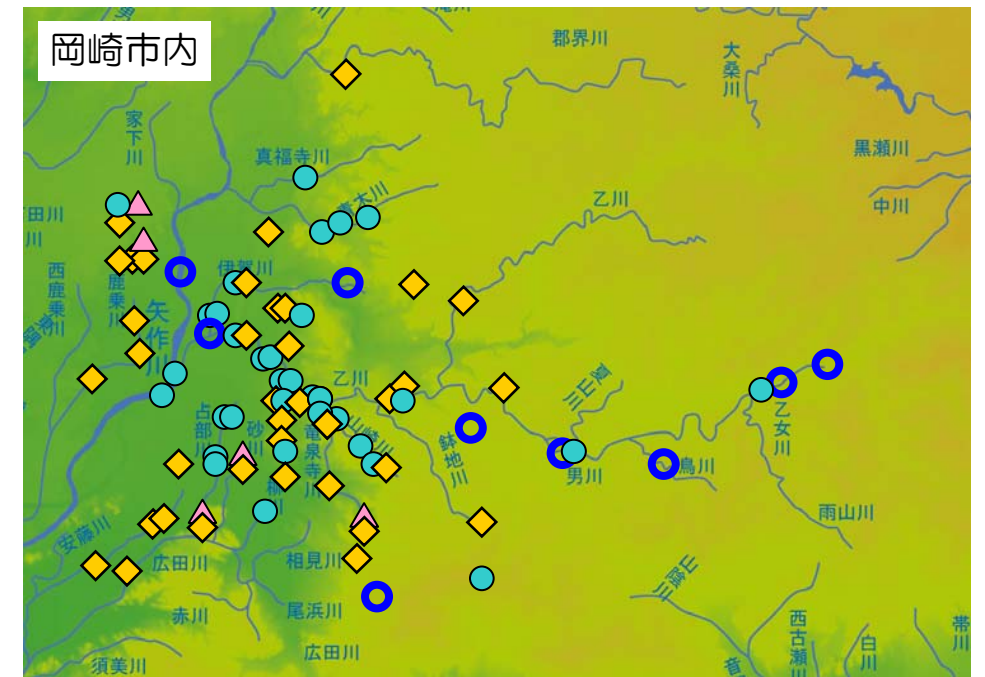
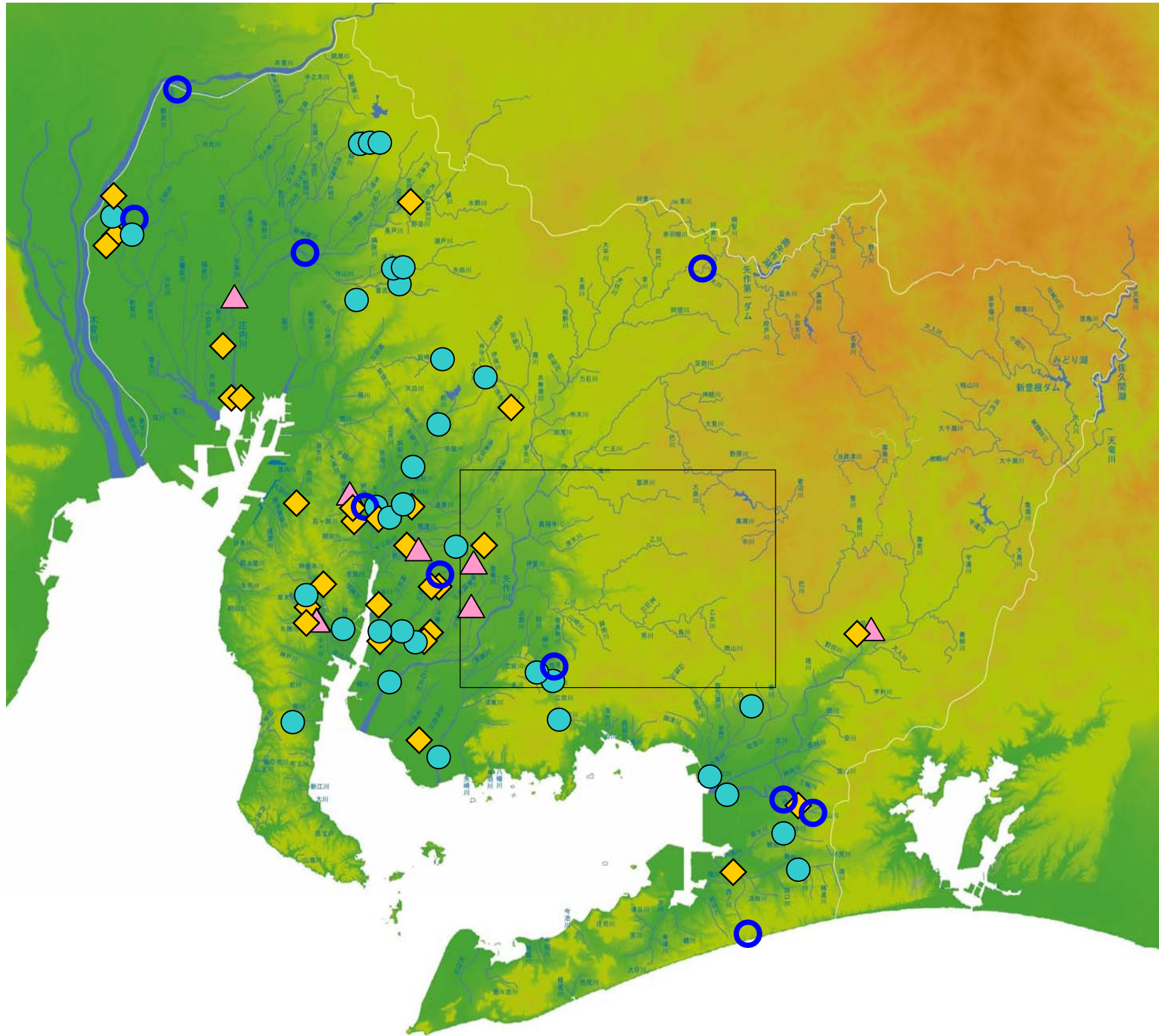


3-7

凡例	平均点	判定
○	4~5	生物が豊かな水環境 ↑ ↓ 生物がほとんどいない水環境
●	3~4	
◇	2~3	
△	1~2	

# 平成22年度 流域モニタリング一斉調査結果（水辺）

3-8



凡例	平均点	判定
○	4~5	快適な水辺 ↑ ↓ 不快な水辺
●	3~4	
◇	2~3	
△	1~2	